

令和 3 年度

学校関係者評価 報告書

社会福祉法人 周山会

富山医療福祉専門学校

令和3年度 富山医療福祉専門学校

学校関係者評価委員会

1. 日 時 令和4年3月27日（日）15時00分～16時30分
2. 場 所 社会福祉法人周山会 老人保健施設なごみ苑 4階会議室
3. 出席者

学校関係者評価委員

- ・原洋子 （滑川市連合婦人会長）
- ・出村眞佐範 （滑川市元副市長）
- ・山田修 （富山県農業共済組合職員）
- ・加田洋一 （滑川市社会福祉協議会会長）

学校関係者

- ・長谷川成樹 （学校長）
- ・酒井吉仁 （学校長補佐）
- ・吉森幸喜 （事務長）

4. 議題

- 1) 令和3年度自己点検・評価 報告
- 2) 令和3年度自己点検・評価 審議

令和3年度自己点検・評価 審議報告

<学校関係者評価委員評価>

I. 教育理念について

教育理念は、医療・保健・福祉に関わる専門職業人養成校としては妥当なものであり、それに基づく教育目標・教育方針も適切に明記されている。入学前の学校紹介、募集要項への記載だけでなく、入学後にどのように学生に伝えていくのかが大切である。決意を持って入学してくる者だけではないだろう。単に教育方針を伝えるのではなく、学生が自主的に自分たちで目標を考えられるように教育に取り組んで欲しい。そのような学校であって欲しい。

II. 教育活動について

コロナ禍で感染予防対策を行い、適切に授業、試験が無事に行われたことは評価する。また、目標に到達しない学生に対して適切なフォローがなされていることも評価できる。その上で、適切な取り組みが行われても、学習成果が目標に到達できなかった学生への教育活動について結果分析、その対応をお願いしたい。学習意欲が成果にも影響を与える。成果が認められないと学習意欲も低下してしまう。これにより学習継続が困難となることのないようお願いしたい。今後もこの状況が続くことが予測されるので、学生

の不利益がないように教育体制を確保していただきたい。

コロナ禍において授業の点検・評価が適切に行えなかった点については、授業評価の時期、方法等についてご検討いただきたい。

III. 学生受け入れについて

職業に対する需要と供給の確認が必要なのではないか。職（職務）のやりがい、職務に対して支払われる対価などが職業選択に影響を与えると考えられる。高校生や社会に対して職の価値、やりがいを伝える必要があるのではないか。各種奨学金などの紹介も行っていく必要がある。今後取り入れられる学校からの学業給付金についても広報して行って欲しい。

IV. 教職員組織について

コロナ禍での学生・教職員のワクチン接種のための休暇、在宅勤務体制整備は評価できる。また社会支援活動も良く行えている。今後、学生も徐々に社会活動に参加できるようになって行って欲しい。この状況下での学会参加、研究活動の個人差は仕方がないが、教育の質を高めるように教職員が意識をし、取り組んで行って欲しい。

V. 施設・設備等について

設備の経年劣化は仕方がない。必要な修理、交換を計画的に行って行って欲しい。

VI. 学生生活支援について

卒業後に専門職として社会に貢献していくためにも、社会活動、実習での学習経験が重要である。今後も学生が自主性を持って学習、学事に取り組めるよう、健康的に生活ができるように支援をおこなって行って欲しい。

VII. 管理・運営について

人格、多様な性への理解と対応が今後さらに必要となってくる。様々な問題への相談窓口の設置と充実をお願いしたい。

<今後の取り組み>

評価委員会からいただきましたご意見により課題が明確となりました。令和4年度は、教育理念「知識力、人間性、対応力で有用の人に」を踏まえ、委員会からいただきましたご助言をもとに、課題解決に向けた教育改善に取り組んでまいります。教育目標「健康増進から看取りまでの広範囲で多様な健康問題に対応できる人材の育成」の達成に向けた教育を実践してまいります。